



発行所 曹洞宗青年会  
〒105 東京都港区  
芝公園三丁目三番地  
発行責任者 神野哲也  
TEL.03-454-5410

# 「88」なら・シルクロード博」参画決定

## 目次

- 1 「なら・シルクロード博」
- 2 九州曹青二十周年「禅の会」
- 3 東北地方集會福島大会
- 4 研修会報告
- 5 いわゆる靈感商法
- 6 我が曹青を語る「四国曹青」
- 7 散步道
- 8 事務局だより

十月一日、宗務庁に於て全曹青理事会が開かれ、88「ならシルクロード博」参画が決定された。

奈良県、奈良市とNHKが主催となり、県政百年の記念事業として、「88」ならシルクロード博（以下「なら博」）が、来年四月より十月にかけて、百八十三日間開催される運びとなった。

今期第七期曹青執行部会長 神野哲州師（は発足総会以来、社会的価値ある活動）をテーマに、大衆教化の接点を働かして積極的にその企画への参画を働きかけてきた。



理事会



理事 会



西野委員長(左) 河村副委員長

十月一日、宗務庁において、理事会が開催された。この日理事のほかに顧問青園棟憲師、「なら博」に關係して、特別事業委員会委員長、副委員長、全日本仏教青年会担当総合企画委員、さらには、新たに今回は北海道より北海道曹青有志らがオブザーバーとして初参加された。

運営内容の検討、今後の方針の協議に続き、特に今回は明年奈良市で開催される「なら博」参加の執行部方針が審議焦点となった。慎重協議の結果、この企画案を承認、特別事業委員会設置、大まかな参画方針が決定した。なお、最終内容決定は次回理事会、評議員会となっている。



北海道曹青有志

理事會・評議員会を左記により開催する運びとなった。

とき 昭和六十一年十月二十一日午後二時より

ところ 大阪上本町三丁目において

議題 一、六十一年度前期活動報告  
二、「なら博」参加について

青年宗侶のエネルギーを結集しよう  
社会的価値ある活動をしよう  
青年宗侶の自覚を促そう  
地域における活動の連携を深めよう

「なら博」参加に向けて  
青年宗侶が宗門の布教化を試みれば必然的に社会的存在を目指すを得ないとして今期執行部は方針に「曹青活動の社会的展開」掲げました。特に大衆の中にあつて活動する曹青の曹青活動の必要としており、宗門の企画する行事が、宗侶に社会的性を求めるものであらず、自らも主催する行事も重要であります。宗侶に社会的性を求めるものであらず、自らも主催する行事も重要であります。宗侶に社会的性を求めるものであらず、自らも主催する行事も重要であります。

今期の「なら博」開催で主催者は、シルクロードが、宗教、哲学、科学技術をはじめ現代を支える社会システムを生み育て、行き交つた。道であり、この博覧会は、日本人の文化と心の源流を訪ねる旅であり、同時にシルクロードという古来の「縁」にむすばれた諸国民、諸民族とともに、平和と発展を求めて歩む未来への旅である、としています。奈良市をシルクロードの終着点と見え、「宗教」「哲学」「科学」の源流を訪ねるとともに、未来へ出発する博覧会と表明しています。

ここで、伝えられた「宗教」とは、「仏教」に他なりません。その点から、「なら博」は本来、仏教の祭典となるべき催事といえます。しかし、残念なことには仏教陣外の内容も多いと聞きます。青年

三、その他 六十三年度行事について  
また、二十五日は、奈良市において、発元興寺、東大寺を拝登「なら博」会場を見学し解散となる。

「なら博」開催期間中の五月二十三日から二十七日にかけて仏教の原点を見つめ考えながら、釈尊降誕を祝ひ布教イベントを行なう。この時は歴々の四月八日（当り、慧深深いイベント）に歴々の四月八日。また五月の事業には、名古屋で開催される梅花流全国奉詠大会と期間が重なり、近距離でもあることから、移動参加を御検討をお願いします。

東大寺に結集しよう！  
四月二十六日 千僧法要  
結論によれば、ビンヒラ王が千人の比に供養することを約束、滅後摩訶迦葉が千人で経蔵の結集を行なつたといわれる、千僧齋、千僧会もい千人の僧を招いて供養し、法会を営むもの。かつて東大寺では聖武天皇、平清盛などによつて千僧供養が行なわれたが、個人の幸せを願うものが多く、僧侶による自主的な法要は伝わっていない。

シルクロードを経て伝えられた仏教は日本人の心を形成してきました。しかし、今日、仏教は再度布教活動を展開しなければならぬ時代を迎えています。

ここに全曹青の「なら博」諸計画のなかで東大寺千僧法要を企画し世界の平和

坐・グルメ精進料理  
十月には会場近く「元興寺精進房」の国宝「禅室」を使用し、奈良の仏教を中心に日本人の心考える会を開催します。全曹青の交渉の中で奈良の君、僧侶の会（南都二六会）と話すことで、やはり、誰もが同じ思いで仏法の興隆を願ひ活動の場を構築してまいりました。国宝「元興寺禅室」が初めて他宗派に使用許可をいただいたことは、その中から生まれた企画であります。

仏教は本来、聞き、学び、さらに修すること大切であります。ここでは、坐禅の指導に精神科も提供し、いと考えています。

特別委員会名簿  
委員長 近畿曹青会長 西野正行師  
副委員長 近畿曹青理事 原田隆文師  
委員 同 河村棟憲師  
同 奈良曹青 三好良久師  
同 京都曹青 奥谷良晃師  
同 加藤善昭師  
同 岡野聖昭師  
同 村田和彦師  
同 渡辺益道師  
同 伊東和行師  
同 中村利昭師  
同 高田真直師  
同 浅井富澄師  
同 和歌山曹青 酒井秀瑞師  
同 丹羽達宗師  
他、全曹青、役員、総合企画委員会、事業委員会、近畿管区役員、事務局

破草鞋  
過般 当山の般若  
折禱会厳修に際し、近隣の御尊修、有縁僧徒の方々に目守られ、本尊聖観音菩薩御照覧の下、我弟子の得度式を行った。

去る五月愛知第三曹青会諸兄に依つて得度式の研修会が行なわれ、そのテキストの序文に「得度式は発心の第一歩の儀式であり、本人のたにも檀信徒教化のために、如何に制しては非とも行ないたい」とあったが……。我弟子も如何に行ずる事が出来なかつた。奮みるに内心恥じたる思いで、涙である。

懐妊師の母は我が子が出家するに臨み「名利を離れ質きに徹して、衆を想う心を深くも、往來を徒歩でゆく下座行に徹して往くことを説き、

学師は祖師が命がけで努力し、血の滲み思いで伝承し積上げてきた「衣の徳」を話し聴かせたという。又我本師は幼くして貧しい農家より出家し奮闘奮闘し、あまり多くを語らず唯々行事締密の中に僧侶としての生き方を行動して見せた。今師としての資格と責任を痛感しているもの、晴姿の弟子に送る言葉の一つも用意出来なかつた浅学非才の我身が悲し。

弟子よ、そんな私一人を聴いて欲しい。

最近の僧侶に智慧者が多い。大衆の欲望に迎合した世渡り上手で守銭奴な智慧者が多過ぎる。君に在る、欲しい思いやりの心がある。他人の痛み悲しみを見とおす智慧がある。君に受け入れは是を大慈大悲の智慧と示されている。

君にはこの智慧を磨き、真の智慧者に育つて欲しい。

真理を求めて、自分に厳しくしていく事が、自分を大切にいく事だと思つたら……。

# さがが緑蔭の集い二十周年記念

## 「禅のトータルイベント」「禅の会」

本年度の後期禅の集い研修会を、九州を会場として開催するに当たり、九州曹洞宗青年会(会長 久賀永雄)では、八月二十九、三十日の両日、緑蔭の集い二十周年記念事業を行う曹洞宗佐賀県青年会(会長 三浦祥善師)から出された企画に注目し、この記念事業に全面的な協力参加することによって、後期禅の集い研修会を実施することとなった。

当日は全曹青から神野哲州会長、桂川道雄研修委員長も出席した。「禅」を視覚、聴覚、味覚を通して説き、総合的な禅の世界を展開するという新しい試みは見事に成功し、これまでにない参加者を集め、三つに分けて設けられた会場では終日人々が絶える事がなかった。

曹洞宗佐賀県青年会が毎年行ってきた「緑蔭の集い」は、会員の大衆教化にかけける情熱と地道な努力によって続けられてきたが、二十年目という節目を迎える事になった本年、これ迄の緑蔭の有り方を根本から見直し、全く従来とは異なった形式・内容をもって大衆に問いかけたのが、今回の「禅の会」であったといえよう。

宗門の先覚者達が、かつて高度成長の只中であって速度を増して変化していく社会現象のなかで、仏教者のあるべき姿を模索し、禅の立場から寺院の門戸を開き一般の大衆に向って働きかけた一つの形として出てきたのが、「禅の集い」であった。爾来、その基本的な姿勢と方法は我々にまで受け継がれてきている。そして曹洞宗佐賀県青年会はその草分け的存在でもあった。

現在、各地に於て、県単位あるいは各寺単位で禅の集いが行われているが、何れの場合でも回を重ねれば重ねる程出てくる問題が「頭を悩ませる」内容、カリキュラムのマネリ化を如何に活性化して会を盛り上げていくか、という事ではないだろうか。

佐賀曹青もまたこの例外ではなかった。将に行ずるは易く、行じ続けるは難しである。さて、様々な曲折の検討を経て、出された一つの答えとして、今回の「禅の会」があった。

切パス等を利用して来た参加者で、広い本堂は座る場所のない程埋め尽され、熱気は蒸気は場所ごとく本堂の温度を一気に数度も上げたように思えた。

後期禅の集い研修会、禅の会は八月二十九、三十日の二日間にあわたり、佐賀市に於て行われた。前回曹青通信で予告の通り、内容として五部構成から成り立っており、一、写真展、二、禅の茶会、三、禅を聞く会、四、グルメ精進料理、五、坐禅会と、正に見て、聞いて、坐って、飲んで食すといった五感全てを禅の世界を体験できるという趣向である。

更には会場を三つに分けて設けられた。しかも、グルメ精進料理以外は全て無料で、参加希望者は何れの会場へも自由に入出入りできるという構成である。

「第一会場「高伝寺」」

ここは肥前鍋島、六十二万石代々の藩主の菩提寺で、佐賀観光のコースともなっている有名な古刹である。境内は二万余坪あって、鬱蒼と茂った大樹の中にあつて外界の喧嘩を忘れ、遠い昔に思わずタイムスリップしそうな行いで、「禅の会」にはこの上ない会場である。



「禅の会」をふり返って

さがが緑蔭の集い二十周年を記念して、今や時代の脚光を浴びんとする「禅」をもっと広く社会にアピールしようという企画開催した「禅の会」は八月二十九日、三十日の両日にわたって参加者がなんと延べ二千人にも及ぶ大盛況を博しました。

「禅の会」をふり返って

企画・開催まで

佐賀県曹青では禅の普及のため、坐禅会を中心にした集いを開催し、微力ながら精神生活の向上に尽力してまいりましたが、時代の流れ、変革にそった方向性を見い出せず……。緑蔭の集い二十周年を迎えるにあたり、「禅」という東洋の叢言に対して世界的に関心が高まりを見せる中で、禅をよび、より分かり易く

切パス等を利用して来た参加者で、広い本堂は座る場所のない程埋め尽され、熱気は蒸気は場所ごとく本堂の温度を一気に数度も上げたように思えた。

四月下旬、二十周年記念事業の企画委員会を設置、寿山俊英副会長(九州管区教化センター幹事)を中心に協議を重ね、禅を聞く会・写真展、後期禅の集い研修会を大きな柱とする骨子を決定。禅の会として、理事会に於て協議を重ね、六月下旬に県内全寺院に告知した。禅の会の全容が決定すれば、呼びかけ協力依頼は県内寺院へはむろん、宗門関係機関、報道関係機関、各種団体、研究団体等に協力依頼を提出する。二十団体の協力、後援を得る。各寺院においての呼びかけで日増しに関心が高まって

**第13回 インド・中国仏跡巡拝の旅**

A 釈尊六大聖地巡拝の旅 (8日間) **342,000円** (大阪・東京発着) (昭和62年10月1日-昭和63年3月、毎週水曜日発)

B 釈尊六大聖地巡拝とタージマハールの旅 (12日間) **375,000円** (大阪・東京発着) (昭和62年10月1日-昭和63年3月、毎週水曜日発)

C 仏陀の生涯を訪ねて (18日間) **468,000円** (大阪・東京発着) (昭和62年11月4日発、昭和63年2月24日発)

D インド仏教美術探訪の旅 (8日間) **298,000円** (大阪・東京発着) (昭和62年12月20日-27日)

E 特別企画 YOUNG IN 仏跡 (40歳未満) **388,000円** (大阪・東京発着) **398,000円** (福岡発着) (昭和63年2月17日-3月6日)

規定：この旅行への参加は40歳未満の方に限らせていただきます。詳細は書画がありますのでご希望の方はお申し付け下さい。

**＝1987,88年度団体企画の受けつけ＝**

同好の目的をもった御仲間あるいは檀信徒とのオリジナルインド・中国仏跡巡拝の旅の団体企画の募集を致しております。5・6名様以上の同行者がいらっしゃいましたら、お早目にご相談下さいませ。

お申し込み、お問合せは

**ASHOKA TOURS アショカツアーズ (株) ビーエス観光**

〒530 大阪府北区中之島3丁目6-32(大阪ビル内) 電話 444-2225 担当 中村(山下)・伊藤

〒104 東京都中央区銀座1丁目5-1(第3大塚ビル内) 電話 563-2691 担当 木村・花島・田島

# 曹青東北地方集会福島大会 「生きる」



「写真展・禅」が開かれていた。佐賀県庁と同じ旧佐賀城の場の中にある会場は、広い敷地に充分なスペースをとり建てられていた。二階が画廊になって、ゆつたりとした部屋に入ると、広い壁面に大伸ばされた四十数点の写真が飾られている。

淡交会の人達の協力で催され、静かな緑蔭の清風が渡る中で、一期一会の禅の趣きを感じ取り、味わっていた。

翌三十日の朝を迎えた第一会場の高伝寺には清々とした涼気の中、近隣から親子連れや若者達が集まり、正午の六時頃に四十分近くの間、静かに参拝していた。その後、朝課に続いて参加者には粥の展待（無料）があり、主催者の心づ

## 第二会場「佐賀県立美術館」

「写真という視覚メディアを通して、インドに始まった仏教が、我々の日常生活の中で生き生きと在っているという事を、見る人を通して感じさせる様構成された。機軸に恵まれ、人々には、普段機会がない本式の精進料理を静かに味わって、「食」についての説明に傾いていた。内容も充実し、円会費であることから大変好評であった。

## 第三会場「禅の茶会」

写真という視覚メディアを通して、インドに始まった仏教が、我々の日常生活の中で生き生きと在っているという事を、見る人を通して感じさせる様構成された。機軸に恵まれ、人々には、普段機会がない本式の精進料理を静かに味わって、「食」についての説明に傾いていた。内容も充実し、円会費であることから大変好評であった。

東の入口はあの野口英世を育てた猪苗代

「生きる」をテーマに、全曹青野会長、桂川研修委員長、またさらには顧問吉岡種憲師の出席を得、日程にしたがって大会が進められた。

大会の入口は、松平二、三万石の城下町である東の入口はあの野口英世を育てた猪苗代

東北地区曹青洞青年会連絡協議会主催の東北地方集会所を兼ね、今年で十二回を数える。本年は九月二十九日、三十日の両日、今集会所の主管、開催地でもある福島県会津若松市郊外、東山温泉で行われた。

「生きる」をテーマに、全曹青野会長、桂川研修委員長、またさらには顧問吉岡種憲師の出席を得、日程にしたがって大会が進められた。

淡交会の人達の協力で催され、静かな緑蔭の清風が渡る中で、一期一会の禅の趣きを感じ取り、味わっていた。

翌三十日の朝を迎えた第一会場の高伝寺には清々とした涼気の中、近隣から親子連れや若者達が集まり、正午の六時頃に四十分近くの間、静かに参拝していた。その後、朝課に続いて参加者には粥の展待（無料）があり、主催者の心づ

くしに喜びと感謝の声が聞かれた。また、午前中は本堂が解放され、参拝希望者は自由に入室し、禅の指導を受けられる様になっており好評であった。午後には前同様、一時引き金子老師の講演があり、引き続き、時から曹青会員の指導による「坐禅」の修行が行われ、一五〇名程の参加者が、前日できなかった「坐禅」に親しんだ。

大会第一日目は、受付の後、開会式、東北曹青連協会長を導師に仏祖諷経、開会宣言と続いた。

大会会挨拶では東北曹青洞青年会連絡協議会会長菊池豊壽師、山形県、置賜曹青が挨拶に立ち、「先賢の諸師方から一つにして時の流れに沿ったテーマを掲げて、互に研鑽を積みながら連携を深め、連帯の輪を、一歩一歩広げてこられたこの集會を、更に確かなものとすべく、生きる」というテーマの下で、互に過去を学び、今を振り返り、明日に向けて語り合おう、また激動する社会の中で、青年宗侶の役割を認識し、大衆のニーズに応えるべく前進しよう」とのべた。

速早、記念講演「仏教の未来」一徳一大師の思想を再考する」と題して、会津に根ざした仏教文化に「一般」として、徳一大師の講演が、高橋富雄先生より行われた。

基調講演は曹洞宗布教師養成所主任講師、福島県興国寺住職、津澤彦師が「先除慮し、く度ることあり」と題して、現代社会に問う宗門の教化活動の題のもとに、社会教化のあり方、社会とともに生きる、とも生きるの講演が行われ第一日目の日程を終えた。

淡交会の人達の協力で催され、静かな緑蔭の清風が渡る中で、一期一会の禅の趣きを感じ取り、味わっていた。

翌三十日の朝を迎えた第一会場の高伝寺には清々とした涼気の中、近隣から親子連れや若者達が集まり、正午の六時頃に四十分近くの間、静かに参拝していた。その後、朝課に続いて参加者には粥の展待（無料）があり、主催者の心づ

「禅の会」を終了後、「禅の会」大盛況の報告と御礼をかねるとともに、創立二十周年、縁結の集い二十周年記念パーティ、玉姫院に会場を移し、宗務所長老師、宗務所後継職員、宗会議員、各学区長老、梅花流泉師範会会長、曹青会歴代会長、「禅の会」会場主高伝寺様のご臨席を賜り、会員諸君を含め約〇名で盛大に祝いました。

第二日目は、全曹青会長、神野哲州師より、全曹青現況報告、会長所信表明と報告が行われた。

全国では五十団体及び曹青が結成され、活発な活動が展開されている、全国曹洞宗青年会も各地の曹青を迎えようことができ、全曹青は各地の曹青の連絡調整機関という性格を明瞭にし、各地の曹青代表による運営を計り、構成委員は各曹青役員とさせていただきます。今月では登録会員数四千名に間もなくなるであろう。宗教者は常に社会的な存在であり、大衆の宗教に対する無関心さは、常に大きな問題で解決の方法を見つけることは容易ではない、僧侶が共に手を組み自由に活動できる場を得て初めの僧侶

我々東北青年宗侶が一丸となって、ここにテーマ「生きる」のも第二回東北地方集会福島大会を開催した。現代社会の風潮をアツクするとき、科学技術の急進と物心のアンバランスが人間の良心を徐々に浸蝕しつつあることを看過することとはできない。我々はこのような懐疑を現実の渦中において、今こそ担担の我を見を離れ、柔軟心を忘れず社会浄化に打ち出さるべきである。さらに、釈尊より相承してきた法灯の重みと歴代祖師方の精進の伝統を踏ま、和合僧の確立期するものである。

そしてこれこそがスローガンである大衆教化の接点となることを我々一同に思い固く信じ、本大会の決議文とする。

宗教に寄せる期待を得た。今後、各地の曹青結成を促し互いに手を結び、青年宗侶の活動を活発に展開していきたい。

以上を報告、表明した。

決議文が読み上げられ採択された。

最後に、連絡協議会会長より、大会決議文が読み上げられ採択された。

「禅の会」を終了後、「禅の会」大盛況の報告と御礼をかねるとともに、創立二十周年、縁結の集い二十周年記念パーティ、玉姫院に会場を移し、宗務所長老師、宗務所後継職員、宗会議員、各学区長老、梅花流泉師範会会長、曹青会歴代会長、「禅の会」会場主高伝寺様のご臨席を賜り、会員諸君を含め約〇名で盛大に祝いました。

**寺院墓地の近畿圏**

◆墓地の企画・造成をはじめ、開発・経営許可の申請手続きの代行、資金のご相談、永代使用申込者(檀家)の募集受付・管理業務、建築設計・施工請負など、すべてお任せください。

◆納骨堂、無縁供養塔の建立もお受けしております。

◆寺院仏具、檀家の方の仏壇・位牌のご注文を承ります。

お気軽にご相談ください。

**新設 増設 改葬**

お任せください。

新しい祈りの文化を創造する

**メモリアルアートの大野屋**

本社/〒187東京都小平市美園町3-2-5 大野屋ビル ☎0423-44-4111

寺院墓地のご相談受付は

- 大 阪 支 店 ☎06-344-7777
- 横 浜 支 店 ☎045-312-4111
- 京 都 支 店 ☎03-486-7777
- 浦 和 支 店 ☎0486-32-4111
- 相 模 原 支 店 ☎0427-54-4111
- 松 崎 支 店 ☎0474-24-7111
- メモリアルカルチャーセンター ☎03-361-4111

# 研修会報告

## 『発心』について「続・得度式」

総会に引き続き、愛知第三の諸兄により、「得度式」の実演が実施された。行持規範や解説書を読んでもなかなかピンとこないが、実演を見ていただくと、まことに判り易いものであった。当日、B5判三〇ページの小冊子をテキスト（愛知第三曹青・編）としていただいた。できたら参考書に全会員に配布を本部で考えていただきたいが、愛知第三曹青で「叢林」という題で記念出版を計画されています。その中で得度式の作法も含まれていくので、出版が楽しみです。

さて、得度式は、我々も体験してきました。儀式であるが、在家出身の人とお寺で生まれ育った人とは、得度式に対する考え方が根本的に違うように思われる。その原因は、年齢からくるものであろうか。在家出身者は得度式をだいたい二十歳前後、或いはそれ以上の年齢で経験するのに対して、寺院出身者はそれよりも年齢が大きく下がる。「出家」という言葉も、在家出身者はそのまま受け取ることも出来るが、寺院出身は「出家」こと出来る、青年会の内輪の会合でよく見られるが、在家出身者は改良衣や作務衣を着て来る。寺院出身者は何のこだわりもなく洋服を着る。こんなところにも各々の置かれていた立場の違いを感じる。寺院出身の方が、仏教に対する取組姿勢に、出家地点から大きなハンデイがあるように思われる。そのハンデイというのは、年齢や環境の問題だけでなく、お坊さんになるのだ」という自己の意志の問題である。得度式に臨むとき、在家出身者は自己の意志が大きく働いているのに

対して、寺院出身者の場合は「親の意志」が大きく影響を及ぼしている。得度式で最も大切なのは、「お坊さんになるのだ」という自己の意志です。「発心」です。行持規範の得度式作法にも「発心の人」と書かれてあり、また得度を「発心の人」と書く人を、「新発心」と呼んでいる。あたりまえのことながら、得度を受けようとする人の心の中に、「発心」があることが前提になって、得度式は成立している。

その「あたりまえのこと」を忘れてしまっているのではないだろうか。私達は一度冷静に、「自己の発心」についてよく考えたいと思う。「発心」の時期は、いつだったのか。得度式のときか、駒込に入ったときか、本山に安居したときか。自分の意志でこの道に進んだという。「発心」がなければ、いつまでも親の意志が働いたままである。親の意志が働いたまま本山に修業までかかるから、修業が辛いものになる。

また指導する者は、弟子子供がどの時期に「発心」するのか、見極めなくてはならない。得度式で一番不可欠なのは、「弟子子供」の発心」というのを矢落させたまま、私達は得度式に臨まなければならないのが、現状です。現代の得度式といえるものは、今後の発心を期待する儀式と考えるべきでしょうか。昔は考えられなかった問題が、今はとりわけ重要な問題になっていく。この問題を解決しておくかなければ、僧職の仕事と動に自信と誇りが持てなくなる。逆に発心と問題に自信の無い人は、自己の意志の問題が解決していないのである。

仏教伝道協会で花山先生の講話を聞いた。仏教界は、優秀な人材をどんどん外部にだしていると思う。寺の跡取りを考えると、子供が三、四人いても、優秀な子供はお寺を出ていく、残った子供が跡取りでは、という指摘である。こんなことを三代三代続けていたら、仏教界はどうなるのかね。と、すどの先生の指摘である。笑って聞いていたが、まったくそのとおりである。得度式に発心が欠落している、そのまま僧侶として成長しているのだから、とりたてて寺の跡を継ぎたいとも思っていない。親は子供に発心有るものだと、思っている。その時期、決定的な引導が、子供から親へ渡さなければならない。優秀なと言われる人材が流失してもまわらない、ただ跡取りに発心があるかどうか、大問題である。

我々も指導者として得度式に臨まなくてはならない時期がある。たぶん「発心」の人、は自分の子供であろう。「発心」の問題を抜きにして、その次に障害になるのは剃髪のことであろう。本行への届ける書類に写真の添付が義務付けられているので、ごまかしがきかない。愛知第三曹青のテキストにも、

形同作法  
形像を仏祖、大僧・沙弥に対して比丘を大僧という同くするに、剃髪、授衣鉢の作法までこのことである。故に得度式に於いて、剃髪を略した。得度の真意を失うことにならぬ。剃髪の大切さが示された。本行の書類をハスするため、坊主頭のカツラを付けて記念写真を写す。これではいまい。我々僧侶は、お葬式の時の役者などと言いたくはない。怒りを通りこして、悲しくなってしまう。子供が承知しないので、と、言い訳がましくなっている。親のために得度式が存在しているよである。本が転倒している。

剃髪に関しては、環境が大きく左右するようには思えない。親・師匠が剃髪しているのに子供・弟子に剃髪は強制されるまい。親・師匠が剃髪しているとき、剃髪を受け入れるかどうか、剃髪と小僧・衣の「かた」に関する問題は、小倉玄照老師の「かたち」のところに「緑陰新書⑤宗務行刊」に書かれてある。現今の宗門においては、やむなく兼職をされている方が大多数を占めている。兼職をされ、勤めの関係で頭の毛を長髪

### 茨城曹青実行委員長 秋元裕峰

### わんぱく ZENスクール

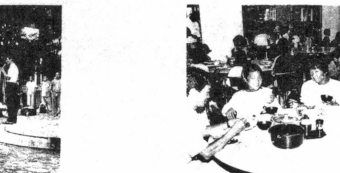
大洗港から船「はるな」に乗って北海道へ。船上では、朝のラジオ体操とレクリエーション、ジャンカなどを踊りました。ちなみにこのあと、わが会員達は息を切らしていました。途中、イルカの大群があって、みんな大喜びでした。



坐 禅



国立日高自然の家入所式



全てセルフサービスの食事



登別の地獄谷、アイヌの白老ポロトコタン、支笏湖を経へ日高の少年の家に到着し、北海道の大自然の中で、サッカー、キャンプファイヤー、坐禅など……のびのび遊んできました。また、帰りの飛行機では、初めて乗る子供がほとんどで、目を離かせながら外の景色を眺めていたのが印象的でした。

子供達の作文中に、「楽しかった。また参加したい」ということが書いてあり、子供達は、この北海道で友だちを作り、いろんなことを学んだことと思います。

**流し燈籠**

水に溶け、無毒・無害で汚染なし!!

◆特長◆

- 流し燈籠の素材は、すべて水に溶解します。
- 約30分位水面に浮き、その後完全に溶解します。
- 無毒・無害であり溶解後も河川を汚染しません。
- 回収の必要がなす(あせせん(諸官庁許可可))

1基(大)700円 (小)360円

株式会社 光和

**水に浮かぶ玉ローソク**

火気に対しては、絶対安心です。戸外でも、ご利用できます。

大玉(5時間) 5ヶ入 600円  
小玉(2時間) 5ヶ入 450円

●ご寺院専用真鍮燭台

- 平素お詣り時の灯明用
- ご法要時の補助灯明 (視認発光教用)

空・風・火・水・地の五色入 [五如来様]

高さ25cm特注品極上磨き (化粧箱入)

1対(2基)大玉10個付 29,600円  
お施読鬼用(5基)大玉30個付 68,000円

〒251 神奈川県藤沢市辻堂元町2-20-17  
TEL. 0466(33)6301(代表)  
(36)4111(直通)



弁護士 尾関孝英

# いわゆる霊感商法と

## その対策 (一)

にしている我々の仲間、発心の件、刺  
髪と二重に不利な立場に追い込まれ  
てしまつて、  
在家出身者と寺院出身者、兼職の者と  
専任の者。立場それぞれ異なる、個々  
も異なる。しかし、「お坊さんとい  
う仕事が好きだ」といふ、共通の土壌が

ある。これが、青年会活動の原動力だと  
思う。活動を世で、自己の「発心」の  
確立と、次の世代の「発心問題」の解決  
の糸口を探りたい。せいで、  
青年会のメインテーマである「生命、  
いのち」を考えると、仏道修行の入口、  
まさに仏弟子としての「生命いのち」を

ただ「得度式」とらえかたで、私達  
は悩ま苦しみます。この苦しみが、青年  
会仲間への大切な財産であり、研鑽のエネ  
ルギーでもあろう。  
全曹青研修委員会

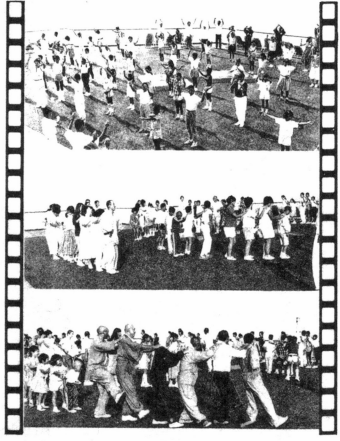
いわゆる霊感商法は宗教的色彩を帯び  
てはいますが、やはり詐欺的商法である  
ことには変わりありません。そこで、  
本家の宗教活動、布教活動に伴う物品  
の販売とは異なり、数々の法律問題が発  
生します。今回は、このような霊感商法  
に関する違法あるいは不法の問題につい  
て法的見地から述べてみたいと思いま  
す。

まず、霊感商法の手口は、「因縁を切  
らない」と子どもが早死する、「とち  
がけている。これでは不幸になる」と  
か、何ら科学的、合理的な根拠のないこ  
とを述べた上で、価値のないものをあた  
り高価なものとして販売しています。  
こように虚偽の事実を申し述べてお金  
を取り出す行為は、民法上の詐欺にあたり  
取り消すことが可能です。民法九六条。  
また、セールスブックの内容が、消費者  
を畏怖させて購入を迫る程度になれば、  
強迫民法九六条にあたり、やはり取り  
消すが可能です。そして、内容によつ  
ては民事上の責任のみならず刑事上の責  
任を発生させることも充分考えられ、詐  
欺罪、恐喝罪などにあることになるで  
しょう。現に、霊感商法の手口について  
恐喝罪を適用し判決もあるようです。

よる販売ではなく、原価の数十倍、数百  
倍の価格で販売するもので、明らかに暴  
利行為と言えます。如何に宗教的な色彩  
が加わろうと、宗教を濫称し、限度を超  
えた暴利行為が許されるはずはありません。  
その上、具体的な販売方法をみても、不  
買手の欲みに乗じ、不安を煽つて不必要  
なものを販売する点で、目的にも反社会性  
を持っています。あるいは暴利行為につ  
いて、法は契約の効力を認めず、「公  
序良俗」に反する行為として無効として  
います。民法九〇条。  
さらに、印鑑、壺、多宝塔等は訪問販  
売法の指定商品であり、訪問販売によ  
り購入したなり、割賦による場合  
にはクーリングオフの適用があり、一定  
期間内に売主に対して書面を通知するこ  
とによつて無条件の契約を解除すること  
が可能です。  
その他にも霊感商法を巡る法律問題は  
沢山あります。例えば、商品によつては  
薬事法の規制対象となります。無許可  
販売に該当するともあります。また、許  
可なく、販売組織自体が反社会性を持つ  
ものとして、これに関わる業者、販売員が  
共同不正行為として損害賠償責任を負  
うこともあり得ます。

# Photo diary 海をわたって「北海道

茨城県曹洞宗青年会が、創設30周年  
の記念事業の一環として、次代を担う  
青少年の育成のために「わんぱくZEN  
スクール」を開催した。  
8月19日～8月23日までの5日間、  
茨城県内はもとより、愛知県からも参  
加者をえての開催であった。  
これは、そのスクールの写真同行記  
である。  
水戸の紙園寺様で、子供達は5つの  
誓いのもと結団式を行なう。中央に立  
つ伊藤清悦副会長より注意事項をいた  
だし、不安と期待に胸をふくらませ、  
いざ出発!!  
◎5つのちかい(やくそく)  
(1) きょうが よい日であるように  
かいいばい がんばろう。  
(2) ささえあつてる この世界  
やさしい気持ち だれにでも。  
(3) 不平をいわず よくばらず  
たがいに明るく ありがとう。  
(4) うそをつかず 話し合い  
心と心をかよわせよう。  
(5) きちんとすわつて 手をあわせ  
静かに 息を ととのえよう。



**お経ビデオ**  
生活にひろがるやすらぎの世界

第一部 曹洞宗日常勤行式  
お経の唱え方と作法のチェック  
お仏壇のまつり方とお勤めの作法  
お線香の作法・経本の持ち方・合掌、  
礼拝の仕方・数珠の持ち方・座法・木魚  
きんぎょの打ち方 他  
第二部 曹洞宗日常勤行式  
お経の唱え方と作法のチェック  
お仏壇のまつり方とお勤めの作法  
お線香の作法・経本の持ち方・合掌、  
礼拝の仕方・数珠の持ち方・座法・木魚  
きんぎょの打ち方 他  
第三部 曹洞宗日常勤行式  
お経の唱え方と作法のチェック  
お仏壇のまつり方とお勤めの作法  
お線香の作法・経本の持ち方・合掌、  
礼拝の仕方・数珠の持ち方・座法・木魚  
きんぎょの打ち方 他

●Bete hi-fi カラー49分  
TT60-3028FI ¥6,000  
●VHS hi-fi カラー49分  
TT60-3028HI ¥6,000

●小社へ直接ご注文の場合は、ご希望  
の商品名を(βかVHSか)はつきりお書き  
のうえ下記宛現金書留にてお申し込み下  
さい。確認後、商品をお送りします。(郵送  
料は小社にて負担します)  
〒110 東京都台東区台東4-27-5 秀和園ビル  
東芝EMI(株)マーケティングセンター  
TEL(03)837-0634  
製作・発売 東芝EMI株式会社  
●ご注文は、お近くのレコード店、ビデオ取扱  
店へどうぞ。

# 我が曹青を語る (10)

四国曹青  
会長 大場良憲

本会は、昭和五十九年に結成大会が開催され発足した。それまでの四国地区内の曹青会活動状況は、愛媛、徳島各県を独自に活動してきたのである。

しかし、各曹青会ともに会員数が少なく活動自体思うにまならぬ状況となり各方面の要望支援により念願かない四国地区曹青会へと発展したのである。発足以来、年月もわずか五年足らずの会ではあるが活動内容も充実してきている。事業としては、毎年各地区持ち回りで開催される地方集會がメイン事業であり、その他夏期子ども禪の集い・歳末助け合い寒行托鉢などがあ



## 役員紹介

曹青会会長 大場良憲 (昌福寺)

副会長 中野宣明 (正寛寺)

門脇一光 (藤林寺)

事務局長 栗田光潤 (法竜寺)

会計 清水昭信 (長命寺)

監査 福田尚文 (吉蔵寺)

福村俊弘 (西瀧寺)

理事 木曾芳典 (真光寺)

里野昭純 (宝泉寺)

山本悟由 (定林寺)

山井恵久 (保安寺)

矢野通玄 (江音寺)

野田大燈 (報四恩精舎)

宮本謙鉄 (元享院)

## 夏期・子ども禪の集い

毎年七月下旬に開催される。この集いは愛曹青が主催であり、四国地区曹青は後援の形で参画している。

本年は第十二回として、愛媛県内子町、福成寺(中野見栄師住職)で開催され、参加者六十名と盛況であった。対象は小学生の中高学年を主体としており、内容も多彩である。その中でも、度量器による食作法の実践は誇りにしている。

## 中・四国曹青ソフトボール大会開催

中・四国曹青間の交流の場として、このソフトボール大会は唯一のものである。我が曹青有志も広島大会、島根大会へと遠征を試みたが、おしくも敗退、無念の涙を吞んで来た。

本年度は四国管区において大会開催の運びとなった。中国曹青有志多数の参加を期待している。

開催期日 十一月五日(木)  
午後一時 開会

会場 松山市井門町  
南海放送サンパーク  
グラウンド

## 歳末助け合い寒行托鉢

毎年十二月に、愛媛松山市を中心に行なっている。栗田伸美老師住職の法竜寺に参集、小僧舞う中寒行托鉢を行い浄財は歳末助け合い募金としてNHKへ寄託している。参加者も年々増え、おりボラボランティア活動の柱になっている。

# 特集 岩手県曹洞宗女子青年会

全国にたぐひつこの曹洞宗女子青年会が岩手県にある。この「岩手県曹洞宗女子青年会」は、昭和五十九年に結成された。今年、会員数も四十名を越えており、会費も五十円に増成されておき、お茶会・本山への雑布寄贈・禪のつどいの補佐などを活動の中心にしている。

## 結成まで

岩手県曹洞宗女子青年会は、昭和五十九年五月十三日に発足している。

この女子青年会は、かねてより岩手県曹洞宗青年会(以下、岩曹青)というが



本田会長

育成をすすめていた。岩曹青組織部を中心に、三代清水瑞穂会長時代に発案された。その後、四代齊藤信一会長時代に強力に育成を推進し、五代菊池祐光会長の代に結成をみた。

女子部結成準備会は、組織部長を中心にして、何回となく開かれた。特に三宅俊禪前組織部長(現岩曹青会長)、釜石市盛岩寺副住持の努力は、高く評価された。結成にあたっての問題点は数多くあった。対象・活動内容・会則・岩曹青との関係等々である。

特に、対象については、全県寺院の青年女子の把握に困難をきわめた。岩曹青事務局を通して各教区へ問い合わせをし、その実数を確かむことはできなかつた。

多くの紆余曲折をみながらも、なんと結成にこびつづけることができた。結成大会は、昭和五十九年五月十三日、北上市正寛寺(地田道雄住職)において開催された。

開会式の後、会議にうつり、早速結成の決議がなされ、ついで役員人事、規約制定・事業計画が決められた。

その後、この三年間の活動は岩曹青とはまったく別組織としての活動を推進し、一昨年から宗務所からの補助も得ることができている。



禪のつどいをする会

最初は、寺院の青年女子としての気負いを抱きながら集った人々も、回を重ねるうちに気軽になってきた。しかし、他に仕事をもっている人が多く、上には、岩手県という広範囲な地域のために、会をもつても、なかなか参加できないという実情もある。また、寺院の女子であることに嫌気を感じている人は、いくらか誘って参加してこない。

このような中であって、まず集まるということが重要と考えられる。そしてお互いの親睦を深め、更には信仰者としての道を歩むことができれば、本会の目的に合致する。

寺院には、修行・家族の道場としての役割もあるにもかかわらず、青年女子に、その目を向けられることはなかつた。寺院に住する者としての教育が、住職や父母にのみゆだねられていた。

女子青年会は、自らが、自分自身の向上のために結成されたものである。まだ結成三年目であり、組織拡大という難問をかかえているが、青年女子自身にとっても、また曹洞宗全体にとっても、必ず寄与することができると信じている。各県に、女子青年会が結成されることを望み、ここに会則を紹介する。

## 今後の方策

お茶会や本山への雑布寄贈などの活動を通して、会員相互の連帯を深めていくことが、まず目前の課題といえる。

いままでもないが、寺院会があつても、寺院の青年女子が集う機会は、これまでは皆無だった。したがって、会員の各々の考え方や価値観は多種多様であり、寺院女子についての意識さえも違っている。毎朝、仏飯を供えて朝課に随喜する人も





### 事務局だより

活動報告の前期、後半をご報告いたします。この時期、事務局の担当、研修課が宇田照彦課長となりました。

七月二十八日 組織委員会(京都) な・シルクロード博協 議(奈良)

三十一日 BS観光打合せ(名古屋)

三十一日 曹青通信第五十一号発行

八月二十日 全国曹洞宗青年監修「曹洞宗のしきたりと作法」発行

二十九・三十日 禅の集、研修 佐

九月 七日 なら・シルクロード博協 議(元興寺)県庁広告関係

九日 全日仏曹宗代表者会議 (東京グランドホテル)

十日 事務局会議

十八日 近畿管区宗務所長会議 (京都)

十八日 東海曹青ソフトボール大会

二十九・三十日 東北大会(福島)

十月 一日 理事会、事務局 会長、研修委員長

二日 事務局会、全日仏曹宗代表者会議

### 広報委員会より 訂正とお願い

前号51号のカレンダー紹介の中で、三重曹青「禅僧の筆痕」、巻末各頁の語意解説、朝日泰峯老師となっておりますが、余語業老師のあやまりでした。

また、カレンダーは非常に評判がよく、残部僅少となっております。御入用の方は早目に申し込みをお願い致します。

### 組織委員会より お知らせ

全国曹洞宗青年会も十二年を経て第七期となり、すでに全国該曹青三十六団体の加入がこころなれおられます。さらに今年度中には、あらた北海道第一宗務所第二教区青年部等、約四十数団体の四千名の会員の方々が加入を検討しております。

組織委員会では、会員名簿の作成に当り、各曹青の評議員を通じて登録名簿の提出をお願いしております。先に提出用紙は配りしてあります。用紙は三枚に分かれ、新規団体加入用、継続団体加入用、変更登録名簿(追加、削除)と出ております。未提出の所は早めにご提出下さい。お願い申し上げます。

### まだまだ少ない会員応募数!!

先号の曹青通信に、曹洞宗ボランティア会の会員募集ラッシュを同封していただき、すでに二十名の方から入会のお申し込みをいただいた。

これまでも、度々当会の活動を曹青通信の誌上で紹介していただき、常日感謝の曹青のみさまの御協力に心より感謝申し上げます。

さて、曹洞宗ボランティア会の活動も前身の曹洞宗東南アジア難民救済会議の活動時期も含めるとすでに七年が経過しております。その七年の間に、活動圏もカンボジア・難民キャンプからラオス・難民キャンプそしてタイ農村、スラムにも活動を拡げています。活動の充実とともに、国連やヨーロッパの団体からも活動助成を受けると、海外で活動する民間団体(NGO)としての評価も高まってきています。

この間、多くの方々から物心両面に渡って様々な御支援をいただきましたが、タイでの活動が充実してきた背景には、ボランティアとして駐在しているスタッフの努力があったと思ふ。現在当会には、六人の日本人スタッフをタイに派遣している。長い入って三年以上、短くとも一年以上活動している彼らのはんどは、

### 曹洞宗ボランティア会

ボランティア活動家として、一生を海外協力活動に捧げる意欲がある。

パンコフ事務所長を務める泰峯也所長は、曹青通信の第四九号でも紹介していただいたが、ボランティア活動を通して、タイではスラムの天使と呼ばれ、その教育活動によって、アジアのノール平和賞とも称されるマザサイ賞を受賞し、タイで最も尊敬される女性であるアラタイ・アム史と結婚。現在はスラムの中に新居を構え、それぞれ活動に打ち込んでいます。

スラムに住み始めて、ようやくスラムの人々と打ちとけていけるようになったという泰所長は、当然タイに情を埋める覚悟だ。

「アメリカの大学卒業し、日本でサラリーマンを一年し、満員電車で押しつぶされ、夜遅くまで仕事をする毎日」が流された無意味なものに思えてきた。スラムや農村、難民キャンプ、タイには日本では想像できないくらい、大きな問題がある。しかし、物は貧しくとも、自分たちを向上させるのだという意気込みには、日本人にない輝きがある。その意味では、生きているという存在感が、タイにはあると思ふ。

生きる喜びをタイの人々と夢を共有しながら活動するのボランティアだとも泰所長は話す。

パンコフから東北(六〇〇)キロ離れたラオス人難民キャンプでは、当会のラオス語図書印刷所、図書館が、この図書館に幼ない難民たちと一緒に図書館教育を実践するスタッフがいる。九月一日付の朝日新聞夕刊に大きく紹介されたので、御存知の方も多いと思ふが、スタッフの安井清子は、図書館を通じて子供たちの識字教育を行っている。難民キャンプの九〇%は文字を持たない少数民族民族だ。

「確かに、子供たちに文をというものは易しいことではない。けれど、モンの子供たちの純粋性ならぬ、おもしろいコンピュータゲームに熱中する日本の子供たちとは違う。子供が社会の宝なら、モン族の人々の未来の方が明るいんじゃないかと思ふ」

日本でも子供を対象とした図書館活動を行ってきた安井の目的は、モン族の幼い難民の方がいきいきと見えて、泰所長にしても安井にしても、援助



SVAのカレンダー 1988年版  
ラオス・カンボジア難民キャンプ製作

SVAでは発足以来、カンボジア、ラオス難民の自立を支援すべく教育、文化活動を行って参りました。中でも「印刷出版プロジェクト」は、カンボジアやラオスにおける出版文化の発展、難民の人々の教育文化の向上を図る重要なプロジェクトの一つです。このカレンダーは、技術習得の成果の発表として、また、日本からの援助に対するお礼の意味を含めて、毎年難民自ら製作しているものです。

異国の地で、祖国への想いを胸に抱きながら一つ一つ作ったカレンダーです。どうぞ皆様のお手元へ、難民の心を...

**タイプI**  
カンボジア  
カレンダー  
ワタ 95cm  
ヨコ 52.5cm

**タイプII**  
モン族カレンダー  
ワタ 90cm  
ヨコ 50cm

アンコールワットを背景に描かれたカンボジア難民キャンプでは、カンボジアの文化継承のため、舞踏、音楽、絵画、絵画などの教育活動を展開しています。そこで難民の人が描いたものです。しなやかな線画の想い、ひびいてくるようです。

**お申し込みの方法**  
お申し込みは、お電話かおはがき、専用申し込みがきでお願いいたします。ご希望の商品の名前と数量、そして御氏名、御住所、お電話番号を御記入下さい。お支払いは、商品到着後10日以内に郵便振替でお振下さい。送料は実費を請求致しますので、代金と共に、お支払い下さい。

**委託販売をしていただけの方募集**  
カレンダーを通じて、難民の人々とのつながりを広めていけたらと、SVAでは願っています。貴方のお勤め先や学校など、貴方のまわりの方々にカレンダーを勧めてくださいませんか。10枚以上買取ってくださる方には、1枚無料で進呈いたします。

**曹洞宗ボランティア会**  
〒170 東京都豊島区集善1-28-5  
ヒカリビル301 ☎03(945)0981  
郵便振替 東京5-617224